

平成26年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
国語Ⅲ (Japanese III)	担当教員	松田 信彦 (Matsuda, Nobuhiko) 小野 益夫 (Ono, Masuo)		
	教員室	松田: 都市環境デザイン工学科棟3階 (TEL: 42-9042) 小野: 学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail	松田: n-matuda@kagoshima-ct.ac.jp 小野:		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業(90分)] × 30回 ※適宜, 補講を実施する			
〔本科目の目標〕 現代文・古典に関わらず、作品を的確に理解し、鑑賞力・思考力・批判力を高め、自己の言語生活及び教養を豊かにする。また日本語の基礎事項および表現法を修得し、自分の考えを適切に表現する知識・技能を養うとともに、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。また特に日本語をとおして日本文化を考えることも目的とする。				
〔本科目の位置付け〕 1年次の「国語Ⅰ」、2年次の「国語Ⅱ」における、現代文・古文・漢文・言語の既修事項を踏まえて、深い教養を身につけ、よりよい社会生活を送るために、国語の総合力をのばす科目である。4年次の「日本語表現」へと発展する。				
〔学習上の留意点〕 本年度は、昨年度の教科書を引き続き使用し、さらなる作品理解に努めるだけでなく、総合的な国語力を高めるために、「パーフェクト演習」も使用して授業を進める。教科書のほか手持ちの国語便覧・国語辞典等を活用するとともに、日常生活の中で読書や新聞・テレビ・ラジオを視聴するときにも、常に自分の語彙力・表現力及び教養を豊かにする工夫をすること。				
〔授業の内容〕				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
【精選現代文】 1. 評論「虚ろなまなざし」	8	<input type="checkbox"/> 段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を説明できる。 <input type="checkbox"/> 論理的な文章の構成を学び、論理の組み立て及び展開を理解し、文章を正しく読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにできる。 <input type="checkbox"/> メディアの権力性を分析し、主体性の幻想とその問題について説明できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書の当該本文の音読をすること。
2. 小説「ころ」	14	<input type="checkbox"/> 長編小説の主題を、場面の展開や人物の性格・心理描写から読みとることができる。 <input type="checkbox"/> 「K」の告白を聞いた時の「私」の心情及び、次第に「K」を「魔物」のように意識していく「私」の心の推移を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 「精神的に向上心のないものはばかだ」ということばを「K」に投げつけた「私」の意図を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 「K」の「覚悟」ということばを「私」はどのように解釈し、どのような行動に出たかを読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 「K」の自殺に直面した「私」の心の動きと良心の呵責を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを説明することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書の当該本文の音読をすること。
【パーフェクト演習】 3. 第一編	6	<input type="checkbox"/> 基礎的な語彙力の強化をはかり、日本語を正しく読み書きできる。	<input type="checkbox"/>	授業時に指示する。
---前期期末試験--- 試験答案の返却・解説	2	授業項目1～3について達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。 (非評価項目)		
>>> 次頁へつづく >>>				

平成 26 年度 シラバス	学年・期間・区分	3 年次 ・ 通年 ・ A 群			
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン			
政治・経済 (Politics and Economics)	担当教員	林 良平 (Hayashi , Ryohei)			
	教員室	都市環境デザイン工学科棟 3 階 (Tel:42-9044)			
	E-Mail	hayashi@kagoshima-ct.ac.jp			
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2 単位				
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90 分)] × 30 回 ※適宜, 補講を実施する				
[本科目の目標] 広い視野に立って, 民主主義の本質に関する理解を深めさせ, 現代における政治, 経済, 国際関係などについて客観的に理解させるとともに, それらに関する諸課題について主体的に考察させ, 公正な判断力を養い, 良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。					
[本科目の位置付け] 4 年次で学習する社会概説Ⅱ, 5 年次で学習する法学Ⅰ・Ⅱ, 経済学, 政治学の基礎となる分野を総合的に学習する。					
[学習上の留意点] 本科目はスライド資料, 板書, 授業プリントに従って行く。授業資料は授業中に配布するほか, 学内サーバー上の共有フォルダにアップロードされている。これらの資料を各自で復習に活用すること。特に, スライド資料の後半には「復習問題」や「応用問題」が掲載されているので, 必ず解くこと。					
[授業の内容]					
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容	
1. イントロダクション	4	<input type="checkbox"/> 経済学の概念を用いて社会事象を説明できる。 <input type="checkbox"/> グラフを用いて変数間の関係を説明できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	参考書の該当する章を読み, 概要を理解しておく。 経済学で多用される基礎数学を復習し, 十分に習得しておく。(直線と 1 次式, 放物線, 2 次関数, 最大最小, 分数関数, 平方根の関数, 累乗と累乗根, 指数関数と対数関数, 微分法)	
2. ミクロ経済学	10	<input type="checkbox"/> リカードの比較生産費説を説明し, 数値を計算できる。 <input type="checkbox"/> 市場の成果を限界分析によりグラフや数値を用いて説明できる。 <input type="checkbox"/> 市場の成果を均衡分析によりグラフや数値を用いて説明できる。 <input type="checkbox"/> 市場の成果を厚生分析によりグラフや数値を用いて説明できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
-- 期末 (定期) 試験 -- 試験答案の返却・解説	1	授業項目 1.2.の達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する (非評価項目)。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
3. マクロ経済学	14	<input type="checkbox"/> さまざまな経済指標(GDP, GDP デフレーター, CPI, 経済成長率, CAGR, GINI 係数)の意義を説明し, 簡単な算出ができる。 <input type="checkbox"/> 貨幣システムの意味, 機能, 種類を説明できる。 <input type="checkbox"/> 経済変動の原因を説明できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
4. 現代社会の諸課題	1	<input type="checkbox"/> 発展途上国の現状と国際協力活動の意義, 差別問題について説明できる。	<input type="checkbox"/>		
-- 学年末 (定期) 試験 -- 試験答案の返却・解説	1	授業項目 3.4.の達成度を確認する。 試験において間違えた部分を自分の課題として把握する (非評価項目)。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
[教科書] なし					
[参考書] N・グレゴリー・マンキュー著, 足立英之他訳, 『マンキュー入門経済学』, 第 2 版, 東洋経済新報社, 2014 年					
[成績評価の基準] 定期試験の平均点 × 70% + 授業中に実施される小テスト × 30%					
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 1-a					
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]					
[JABEE との関連]					
[教育プログラムの科目分類]					

Memo

平成26年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・前期・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
線形代数Ⅲ (Linear Algebra Ⅲ)	担当教員	白坂 繁 (Shirasaka, Shigeshi) 拜田 稔 (Haida, Minoru) 村上 浩 (Murakami, Hiroshi)		
	教員室	白坂: 図書館2階 (TEL: 42-9052) 拜田: 一般科目棟3階 (TEL: 42-9051) 村上: 一般科目棟3階 (TEL: 42-9046)		
	E-Mail	白坂: sirasaka@kagoshima-ct.ac.jp 拜田: haida@kagoshima-ct.ac.jp 村上: h_muraka@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 15回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標]				
(1) 平面における1次変換についての基本的事項を学び、回転など図形的な問題への応用を考える。				
(2) 固有値、固有ベクトルについて学び、行列の対角化が行えるようにする。				
[本科目の位置付け]				
(1) 線形代数ⅠおよびⅡの知識を前提とする。				
(2) 線形代数は、多くの分野で必須なものである。				
[学習上の留意点]				
本科目は講義・演習形式で行う。以下の点に留意して学習すること。				
(1) 教科書等を参考に予習を行い、講義に臨むこと。				
(2) 受講後は要点をまとめ、問題演習を行い、学習内容の定着をはかること。				
(3) 疑問点は質問を行い、後に残さないように心がけること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 1次変換	14	<input type="checkbox"/> 1次変換の定義、性質を説明できる。 <input type="checkbox"/> 1次変換による点や直線の像を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 1次変換の合成変換や逆変換を求めることができる。 <input type="checkbox"/> 原点を中心とした回転移動を行列によって表すことができる。 <input type="checkbox"/> 1次変換の応用として回転移動による2次曲線の像を求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p. 138-p. 155の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
——前学期中間試験——		授業項目1. について達成度を確認する。		
2. 行列の固有値と対角化	14	<input type="checkbox"/> 行列の固有値、固有ベクトルを求め、対角化を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 直交行列による対称行列の対角化を行うことができる。 <input type="checkbox"/> 対角化の応用として行列のn乗や2次形式の標準形を求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	p. 162-p. 184の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
——前学期末試験——		授業項目2. 3. について達成度を確認する。		
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		
[教科書] 新版線形代数 岡本和夫 監修 実教出版				
[参考書・補助教材] 新版線形代数演習 岡本和夫 監修 実教出版 新編 高専の数学2 問題集 (第2版) 田代嘉宏 編 森北出版				
[成績評価の基準] 中間試験、期末試験 (75%) + 課題、問題演習、小テスト (25%) —授業態度 (上限20%)				
[本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連] 3-a				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEE との関連]				
[教育プログラムの科目分類]				

Memo

平成26年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・前期・A群		
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、都市環境デザイン工学科		
微積分学Ⅲ (Calculus Ⅲ)	担当教員	機械・電気電子：松浦 将國 (Matsuura, Masakuni) 電子制御・情報：白坂 繁 (Shirasaka, Shigeshi) 都市環境デザイン：熊谷 博 (Kumagai, Hiroshi)		
	教員室	松浦：一般科目棟3階 (TEL：42-9050) 白坂：図書館2階 (TEL：42-9052) 熊谷：図書館2階 (TEL：42-9048)		
	E-Mail	松浦：matsuura、白坂：sirasaka、熊谷 kumagai の後に@kagoshima-ct.ac.jp を付ける。		
教育形態／単位の種別／単位数	講義 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (180分)] × 15回 ※適宜、補講を実施する。			
[本科目の目標]				
(1) 定積分の計算力を身に付け、面積・体積・長さなどへの応用力を養うこと。				
(2) 関数の展開や近似値の計算ができるようになること。				
(3) 偏微分の計算力を身に付けること。				
[本科目の位置付け]				
(1) 数学基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、微積分学Ⅰ・Ⅱ、線形代数Ⅰ・Ⅱの基礎知識を前提とする。				
(2) 微分積分は工学分野の基礎知識である。				
[学習上の留意点]				
(1) 教科書を参考に予習を行うこと。授業に集中すること。				
(2) 受講後は問題集などで問題を解き、具体的な問題の解法を身に着けること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 定積分 置換積分・部分積分	4	<input type="checkbox"/> 定積分における置換積分・部分積分の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.157～p.161
広義の積分	3	<input type="checkbox"/> 広義積分の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	p.164～p.168
面積	2	<input type="checkbox"/> グラフで囲まれた図形の面積の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	p.170～p.173
極座標と面積	2	<input type="checkbox"/> 極座標を用いて面積の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	p.173～p.174
体積	3	<input type="checkbox"/> 立体や回転体の体積の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	p.174～p.177
2. 数列・級数 数列の極限	2	<input type="checkbox"/> 数列の極限を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.180～p.185
無限級数	3	<input type="checkbox"/> 無限級数の収束・発散を調べ和を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.185～p.189
べき級数	1	<input type="checkbox"/> べき級数の収束半径を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.190～p.191
3. 高次導関数 第n次導関数	1	<input type="checkbox"/> 関数の高次導関数の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	p.107～p.109
ライプニッツの公式	1	<input type="checkbox"/> ライプニッツの公式を使うことができる。	<input type="checkbox"/>	p.109～p.111
4. 関数の展開 近似式	2	<input type="checkbox"/> 関数の近似式を求め、誤差の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	p.193～p.195
マクローリン展開	3	<input type="checkbox"/> 関数のマクローリン展開を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.195～p.197
テイラー展開	1	<input type="checkbox"/> 関数のテイラー展開を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.198
— 中間試験 —		授業項目1. 2. 3. 4. に対して到達度を確認する。 >>> 次頁へつづく >>>		

平成26年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・後期・A群		
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、都市環境デザイン工学科		
微積分学IV (Calculus IV)	担当教員	機械・電気電子：松浦 将國 (Matsuura, Masakuni) 電子制御・情報：白坂 繁 (Shirasaka, Shigeshi) 都市環境デザイン：熊谷 博 (Kumagai, Hiroshi)		
	教員室	松浦：一般科目棟3階 (TEL：42-9050) 白坂：図書館2階 (TEL：42-9052) 熊谷：図書館2階 (TEL：42-9048)		
	E-Mail	松浦：matsuura、白坂：sirasaka、熊谷 kumagai の後に@kagoshima-ct.ac.jp を付ける。		
教育形態／単位の種別／単位数	講義 / 履修単位 / 1単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業(90分)] × 15回 ※適宜、補講を実施する			
[本科目の目標]				
(1) 2変数関数の極値を求めることができること。 (2) 2重積分の計算に習熟すること。 (3) 1階や2階の基本的な微分方程式が解けること。				
[本科目の位置付け]				
(1) 数学基礎I II III IV, 微積分学I II, 線形代数I II IIIの基礎知識を前提とする。 (2) 微分方程式や2変数関数の微分積分は工学分野の基礎知識である。				
[学習上の留意点]				
(1) 教科書やプリントを参考に予習を行うこと。授業に集中すること。 (2) 受講後は問題集などで問題を解き、具体的な問題の解法を身に付けること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 偏微分の応用 2変数関数の極大・極小	4	<input type="checkbox"/> 2変数関数の極値を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.241—p.249
陰関数の極値	1	<input type="checkbox"/> 陰関数の極値を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.249—p.250
条件付極値	1	<input type="checkbox"/> 条件付極値を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.250—p.251
2. 重積分 累次積分	2	<input type="checkbox"/> 累次積分の計算ができる。	<input type="checkbox"/>	教科書 p.253—p.258
積分順序の変更	2	<input type="checkbox"/> 積分順序を変更することができる。	<input type="checkbox"/>	p.259—p.261
極座標による2重積分	2	<input type="checkbox"/> 極座標を用いて2重積分を計算することができる。	<input type="checkbox"/>	p.261—p.264
体積	2	<input type="checkbox"/> 2重積分を用いて体積を求めることができる。	<input type="checkbox"/>	p.266—p.269
— 中間試験 —		授業項目1. 2. に対して到達度を確認する。		
>>> 次頁へつづく >>>				

平成26年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・後期・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
確率・統計 (Probability & Statistics)	担当教員	ES:熊谷 博 (Kumagai, Hiroshi) I:藤崎 恒晏 (Fujisaki, Tsunehiro) MC:白坂 繁 (Shirasaka, Shigeshi)		
	教員室	熊谷:図書館2階 (TEL:42-9048) 藤崎:学生共通棟1階非常勤講師控室 (TEL:42-2167) 白坂:図書館2階 (TEL:42-9052)		
	E-Mail	熊谷:kumagai	藤崎:fujisaki	白坂:sirasaka ※最後に@kagoshima-ct.ac.jp を付けて下さい。
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業(90分)] × 15回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標]				
(1) 確率に関する基本的な概念や法則について理解を深める (2) 統計的な見方や考え方に関する能力を養う				
[本科目の位置付け]				
(1) 数学基礎 I, II, 微積分学 I, II で学んだ内容を前提とする (2) 確率・統計は工学全般, 経済学, 社会学などの分野において必須なものとして位置づけられる				
[学習上の留意点]				
問題演習を十分に行い, 確率・統計に関する演算の定着をはかること				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 確率 —— 後学期中間試験 ——	14	<input type="checkbox"/> 確率の定義や性質を理解し, 基本的な問題が解ける <input type="checkbox"/> 事象の独立や条件つき確率の概念を理解し, 基本的な問題が解ける 授業項目1について達成度を確認する	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書P1~P25を読み, 概要を把握しておく
2. データの整理	8	<input type="checkbox"/> 1次元のデータについて平均, 分散, 標準偏差を求めることができる <input type="checkbox"/> 2次元のデータについて相関係数や回帰直線の方程式を求めることができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書P27~P49を読み, 概要を把握しておく
3. 確率変数と確率分布 —— 後学期末試験 ——	6	<input type="checkbox"/> 与えられた確率分布の平均, 分散, 標準偏差を求めることができる <input type="checkbox"/> 正規分布表を利用して確率を求めることができる	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	教科書 P51~56, P59~P68, P71 を読み, 概要を把握しておく
試験答案の返却・解説	2	各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する(非評価項目)。		
[教科書] 新訂 確率統計 高遠節夫・斎藤 斉 他 大日本図書				
[参考書・補助教材]				
[成績評価の基準] 中間・期末試験 (70点) + {問題演習-(授業態度+欠席状況)} (30点)				
[本科(準学士課程)/専攻科課程の学習・教育目標との関連] 3-a				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEEとの関連]				
[教育プログラムの科目分類]				

Memo

平成26年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
保健体育 (Physical Education)	担当教員	北菌 裕一 (Kitazono, Yuichi) 堂園 一 (Douzono, Hajime) 山崎 亨 (Yamasaki, Toru)	
	教員室	体育館2階 (TEL&FAX: 42-9065 または 42-9066)	
	E-Mail	kitazono@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義・実習 / 履修単位 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 30回		
[本科目の目標] 運動の合理的な実践と健康についての基礎的な事項について科学的な理解を深め, これらに基づいて自ら進んで積極的なスポーツ活動への参加と, 健康の保持増進に関する問題を解決する能力を養う。			
[本科目の位置付け] 心身共に健康な技術者としての身体の基礎づくり。体育・スポーツ活動の実践を通して, 相手の立場に立ってものを考え, グローバルに活躍できる人間性の育成。			
[学習上の留意点] 教科書「高専の健康科学」及び参考書「マイ・スポーツ」の授業に関連するところを読み理解すること。実技においては, 教材 (運動場・体育館) を考えて正しい服装と, 体育用具等の管理, 安全に十分留意すること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. オリエンテーション	2	<input type="checkbox"/> (1) 選択制授業のガイダンスを理解することができる。 <input type="checkbox"/> (2) AED (自動体外式除細動器) の取り扱い方法と一次救命処置が理解できる。	参考書「マイ・スポーツ」による
2. スポーツテスト	6	<input type="checkbox"/> (1) 運動能力テストと体力診断テストを実施し, 自己評価ができる。	
注) 選択制 12 : 授業項目 3~12 については, 各種目 12 時限をワンセットとして, 種目選択の機会を 4 回設定する。従事時間合計 48 時限 (=12 時限×4 種目)。			
3. バレーボール	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) パス, スパイク, サービスができる。 <input type="checkbox"/> (2) 1・5 フォーメーションゲーム, 審判を行うことができる。	P187-P205 の内容について, 参考書「マイ・スポーツ」を読んでルール等確認しておく。
4. テニス	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術練習: グリップ, ラケットワーク, ストローク, サービス, ネットプレイ <input type="checkbox"/> (2) ゲームの進め方, 審判法, ゲーム (シングル, ダブルス)	P209-P216 の内容について, 正規のシングル, ダブルスの戦術的理解とゲームの進め方を理解しておく。
5. ソフトテニス	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能 : ストローク, サービス, ボレーができる。 <input type="checkbox"/> (2) 雁行陣・平行陣のゲームができる。	P217-P226 の内容について, 正式なルールにより, ペアで作戦を立ててのゲームを理解しておく。
6. ソフトボール	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基本技能の復習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) ゲーム, 審判を行うことができる。	P251-P263 の内容について, 特にチームプレイの徹底を理解しておく。
7. ゴルフ	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) クラブの種類と構造, 握り方を理解できる。 <input type="checkbox"/> (2) スイングの基本と練習ができる。	P386-P387 の内容について, 特にプレイ上のエチケットとマナーを理解しておく。
8. サッカー	選択制 12	<input type="checkbox"/> (1) 基礎技術及びシュート練習ができる。 <input type="checkbox"/> (2) 4・3・3 システムフォーメーションの理解とゲーム, 審判を行うことができる。	P147-P165 の内容について, 特にゲームスタイルの変遷を理解しゲームに応用できるようにしておく。
>>> 次頁へつづく >>>			

平成26年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英語Ⅲ (English III)	担当教員	佐藤 哲三 (Sato, Tetsuzo) あべ松 伸二 (Abematsu, Shinji)		
	教員室	佐藤: 学生共通棟1階 非常勤講師控室 (TEL: 42-2167) あべ松:		
	E-Mail	佐藤: ttz-satou@healthcare-m.ac.jp あべ松: abematu@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 30回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 1,2年次の学習効果を踏まえ、聞く・話す・読む・書くの4技能の習熟に努めながら、総合的な英語力育成を目指す。教材中の様々な問題に触れることにより、考える力や表現力の向上を目指す。				
[本科目の位置付け] 語彙・文法等の基礎知識の定着を図り、読解力や聴解力を強化する。				
授業項目、達成目標、学習内容について英文法Ⅲと連携をとりながら進めていく。				
[学習上の留意点] 英和辞典を持参すること。予習・復習を十分に行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。重要事項は、必ずノートに書き留めること。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. 関係代名詞の非制限用法	4	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて把握し、考えることができる。	<input type="checkbox"/>	教科書本文をノートに写す。新出語彙・文法を辞書で調べ、書いて覚える。演習問題を解く。単語集の語句を書いて覚える。音読の練習をする。
2. 付帯状況(with)	3	<input type="checkbox"/> 文法項目について理解し正しく使用することができる。	<input type="checkbox"/>	
3. SVC (C=現在分詞/過去分詞)	3	<input type="checkbox"/> 英語を聞いたり読んだりして、その内容を正しく再生したり質問に英語で正しく答えることができる。	<input type="checkbox"/>	
4. 関係副詞の非制限用法 --- 前期中間試験 ---	4	授業項目1~4について達成度を確認する。		
5. suggest that S (should) 動詞の原形	3	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて把握し、考えることができる。	<input type="checkbox"/>	
6. 無生物主語	3	<input type="checkbox"/> 文法項目について理解し正しく使用することができる。	<input type="checkbox"/>	
7. 過去分詞で始まる分詞構文	4	<input type="checkbox"/> 英語を聞いたり読んだりして、その内容を正しく再生したり質問に英語で正しく答えることができる。	<input type="checkbox"/>	
8. さまざまな動名詞 --- 前期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	2	授業項目5~8について達成度を確認する。試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)		
9. It is (形容詞) of ~to 不定詞	3	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて把握し、考えることができる。	<input type="checkbox"/>	
10. 仮定法 (I wish ~)	3	<input type="checkbox"/> 文法項目について理解し正しく使用することができる。	<input type="checkbox"/>	
11. be + to 不定詞	2	<input type="checkbox"/> 英語を聞いたり読んだりして、その内容を正しく再生したり質問に英語で正しく答えることができる。	<input type="checkbox"/>	
12. 前置詞+関係代名詞	3			
13. 完了形で始まる分詞構文 --- 後期中間試験 ---	2	授業項目9~13について達成度を確認する。		
14. 複合関係詞(疑問詞 ever)	4	<input type="checkbox"/> 内容やテーマについて把握し、考えることができる。	<input type="checkbox"/>	
15. if のない仮定法	4	<input type="checkbox"/> 文法項目について理解し正しく使用することができる。	<input type="checkbox"/>	
16. 未来完了形	3	<input type="checkbox"/> 英語を聞いたり読んだりして、その内容を正しく再生したり質問に英語で正しく答えることができる。	<input type="checkbox"/>	
17. as if+仮定法 --- 後期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	2	授業項目14~17について達成度を確認する。試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)		
[教科書]	PRO-VISION ENGLISH COURSE II New Edition		原口 庄輔 他 桐原書店	
[参考書・補助教材]	PRO-VISION ENGLISH COURSE II New Edition ワークブック 速読英単語 (入門編) 風早寛 Z会出版		原口 庄輔 他 桐原書店	
[成績評価の基準]	中間及び期末試験成績(60%) + 平常点(40%) - 授業態度(上限20%)			
[本科(準学士課程)の学習・教育目標との関連] 2-b				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEEとの関連]				
[教育プログラムの科目分類]				

Memo

平成26年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン		
英文法Ⅲ (English Grammar Ⅲ)	担当教員	鞍掛 哲治 (Kurakake, Tetsuharu)		
	教員室	図書棟2階 (TEL: 42-9058)		
	E-Mail	kurakake@kagoshima-ct.ac.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 2単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分) + 自学自習 (60分)] × 30回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 英語コミュニケーション能力に必要な基礎的英文法の知識を習得する。ドリルを通してより多くの問題に触れ、英文を正確に読み書きできることを目標とする。特に、ライティングは習得した英文法の知識を駆使して、100語～200語の1パラグラフのエッセイを書くことができることを目標とする。				
[本科目の位置付け] 本科目は英文法Ⅰ、Ⅱを復習しながら、より発展させた内容を扱う。また、英語Ⅱの文法事項を解説し、演習を行う。英語のエッセイライティングの基礎を習得する。				
[学習上の留意点] 英文法Ⅰ、Ⅱで既習の英文法についての一般的な知識が必要です。また、英語の基礎的言語能力を養うためには反復が必要なので、ドリルを厭わず積極的な態度で学習することが臨まれます。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1. Unit01-05 --- 前学期中間試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	<input type="checkbox"/> 現在/過去時制、冠詞/代名詞、進行形、名詞/数詞、形容詞/副詞の用法について説明できる。 授業項目1について達成度を確認する。 試験において間違った部分を理解出来る。	<input type="checkbox"/> 	pp.06-25の内容について、教科書を読み、概要を把握する。
2. Unit06-10 --- 前学期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	<input type="checkbox"/> 接続詞/前置詞、助動詞/使役・知覚、未来時制、比較、不定詞/動名詞の用法について説明できる。 授業項目2つについて達成度を確認する。 各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)	<input type="checkbox"/> 	pp.26-45の内容について、教科書を読み、概要を把握する。
3. Essay Writing --- 後学期中間試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	<input type="checkbox"/> パラグラフとは何か、その構成について説明できる。 <input type="checkbox"/> パラグラフのいくつかのパターンを説明できる。 <input type="checkbox"/> 1パラグラフのエッセイを書くことができる。 授業項目3について達成度を確認する。(G-TEC) 試験において間違った部分を理解出来る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	配布されたプリントを読み、概要を把握する。 Step-up Noteの問題を解答する。
4. Unit11-15 --- 後学期期末試験 --- 試験答案の返却・解説	13 2	<input type="checkbox"/> 完了時制、受動態、関係詞、仮定法の用法について説明できる。 授業項目4つについて達成度を確認する。 各試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)	<input type="checkbox"/> 	pp.46-67の内容について、教科書を読み、概要を把握する。
[教科書] TOEIC Bridge Lounge Terry O'Brien 他著 南雲堂 [参考書・補助教材] UPO-NET オンライン教材 G-TEC for Students Step-up Note				
[成績評価の基準] 定期試験(中間試験および期末試験)の成績 (60%) + 小テスト及びレポート成績 (40%)				
[本科(準学士課程) / 専攻科課程の学習・教育目標との関連] 2-b [教育プログラムの学習・教育目標との関連] [JABEEとの関連] [教育プログラムの科目分類]				

Memo

平成26年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・後期・A群		
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科		
英語演習Ⅲ (Language Laboratory Ⅲ)	担当教員	嵯峨原 昭次 (Sagahara, Shoji) 松元 貴子 (Matsumoto, Takako)		
	教員室	嵯峨原: 図書館2階 (TEL: 42-9062) 松元: 学生共通棟1階 非常勤講師研究室 (TEL: 42-2167)		
	E-Mail	嵯峨原: sagahara@kagoshima-ct.ac.jp 松元: tako1116@ezweb.ne.jp / takakom116@hotmail.co.jp		
教育形態/単位の種別/単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位			
週あたりの学習時間と回数	[授業 (90分)] × 15回 ※適宜, 補講を実施する			
[本科目の目標] 国際的に通用する英語コミュニケーション能力に必要な英語での会話能力を習得する。具体的には正しく英語を発音できる。英語を正しく聞き取ることができる。自分の言いたいことを英語で話すことができる。英会話表現を認知できる。				
[本科目の位置付け] 1年次の英語演習Ⅰ、2年次の英語演習Ⅱで習得した英語発音(ハミング8メソッド)を復習し正しい英語発音を持続させながら、リスニング能力・スピーキング能力を向上させて、英会話の能力を高める。				
[学習上の留意点]				
① 1・2年次の英語演習で習得したハミング8メソッドの練習を続けて更なる定着を目指す。				
② リスニングの問題集を利用してリスニングの演習を行う。				
③ 英会話表現復習テストに備えて学習すること。				
④ 評価のほとんどは実践的な活動で評価するので、特に授業中の演習や実践テストに真剣に取り組むこと。				
[授業の内容]				
授 業 項 目	時限	授業項目に対する達成目標	達成	予習の内容
1) 後期中間試験前まで ① Pronunciation (英文レベル) ② Speech (Dialogue), Speaking ③ Listening ④ 表現 (場面)	1 4	<input type="checkbox"/> ① 英文を正しい発音で読むことができる。 <input type="checkbox"/> ② 英語で相手と対話を発表できる。英語で言いたいことを話すことができる。 <input type="checkbox"/> ③ 専用リスニングテキストを活用して、準2級リスニングレベルの問題をほぼ完全に解くことができる。2級リスニングレベルの問題も一部解くことができる。 <input type="checkbox"/> ④ 場面ごとの英語表現を認知することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	① 指定された英文の読みの練習をしておくこと。 ② 対話原稿を練習しておくこと ④ 教科書の指定されたところを学習して復習テストに備えること。
2) 後期期末試験前まで ① Pronunciation (英文レベル) ② Speech (Dialogue), Speaking ③ Listening ④ 表現 (場面)	1 4	<input type="checkbox"/> ① 英文を正しい発音で読むことができる。 <input type="checkbox"/> ② 英語で相手と対話を発表できる。英語で言いたいことを話すことができる。 <input type="checkbox"/> ③ 専用リスニングテキストを活用して、準2級リスニングレベルの問題をほぼ完全に解くことができる。2級リスニングレベルの問題も一部解くことができる。 <input type="checkbox"/> ④ 場面ごとの英語表現を認知することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	① 指定された英文の読みの練習をしておくこと。 ② 対話の原稿を練習しておくこと。 ④ 教科書の指定されたところを学習して復習テストに備えること。
—後期期末試験—		授業項目①～④について達成度を確認する(実践テスト)		
試験答案の返却・解説	2	試験において間違えた部分を自分の課題として把握する。(非評価項目)		
[教科書] はちの発音 ハミングメソッド 大庭まゆみ著 ハミングバード Voice リスニングスキルアップテスト 15 minutes 野村和宏著 第一学習社 まるごと使える旅行英会話ミニフレーズ 高橋朋子 アルク				
[参考書・補助教材] はちの発音副教材、リスニング教材、ビデオ教材、プリント教材				
[成績評価の基準] 授業中の実践発表・演習テスト・期末試験・レポート課題 (100%)				
[本科(準学士課程)の学習教育目標との関連] 2-b				
[教育プログラムの学習・教育目標との関連]				
[JABEEとの関連]				
[教育プログラムの科目分類]				

Memo